

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

魅力ある観光地域づくりに向けたDMO推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

七尾市及び石川県鹿島郡中能登町

3 地域再生計画の区域

七尾市及び石川県鹿島郡中能登町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

七尾市、中能登町では全国の地方都市と同様な人口減少が大きな課題となっており、両市町では2010年から2040年までの30年間で約27,000人減少し、50,000人を割り込むと見込まれている。その対策として、両市町ともに「交流人口の拡大」を掲げ、2020年に観光入込客数約460万人を目標とし、首都圏からの旅行者や外国人旅行者の誘客促進、スポーツ大会及びスポーツ合宿等の誘致に取り組んでいる。しかし、官民による連携不足や観光地域づくりの核となる組織が成熟していないことなどから、魅力ある地域資源を活かした観光施策を十分に実施できていない。

4-2 地方創生として目指す将来像

七尾市総合戦略の目標である「七尾市にしごとをつくり、安心して働けるようにする」「七尾市への新しい人の流れをつくる」及び中能登町の総合戦略の目標である「地域の産業を活性化し、老若男女を問わずすべての町民がいきいきと暮らし活躍できるまち」の実現に向けて、平成29年11月に七尾市、中能登町の観光協会、商工会議所、商工会、行政からなる地域連携DMO「(一社) ななお・なかのとDMO」を立ち上げ、両市町の観光地域づくりに向けての体制整備を進めている。北陸新幹線金沢開業による首都圏からの旅行者や年々増加している外国人観光客をさらに呼びこみ、「(一社) ななお・なかのとDMO」を中心に地域資源を活かした観光振興やさらなる交流人口の拡大を図る。さらに観光関連以外の幅広い産業分野と連携することで地域の「稼ぐ力」を引出し、地域の雇用創出につなげることで、持続可能なまちの実現を目指す。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	2018年度 増加分 1年目	2019年度 増加分 2年目	2020年度 増加分 3年目	KPI 増加分 の累計
観光入込客数（人）	4,048,244人	441,756人	110,000人	10,000人	561,756人
宿泊者数（人）	1,227,877人	39,123人	26,000人	26,000人	91,123人
旅行消費額（千円）	18,641,982 千円	1,413,018 千円	226,000 千円	8,000 千円	1,647,018 千円

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

（一社）ななお・なかのとDMOが「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となり、歴史遺産、食と伝統、観光施設、宿泊施設などを結ぶ観光ルートの構築や旅行商品化を進めるとともに、スポーツや修学旅行などの体験型・滞在型観光地としてのブランド化に取り組むことで、交流人口の拡大を図ることができる。また、観光関連のみならず、幅広い産業分野に波及させることで地域の「稼ぐ力」を引出し、地域の雇用創出につなげることができる。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

七尾市及び石川県鹿島郡中能登町

② 事業の名称：七尾市・中能登町地域連携観光に向けたDMO構築推進事業

③ 事業の内容

七尾市、中能登町の観光産業の振興等を図るため、地域内のワンストップ窓口としての役割を担う組織として平成29年11月に設立した「（一社）ななお・なかのとDMO」の形成・確立を進めるとともに、民間と連携した観光産業における稼ぐ力を生み出す仕組みづくりの確立、官民一体となった戦略的なプロモーション展開、SNSを活用した外国人観光客誘致、個性ある地域資源や取組みのブラッシュアップを行い、「（一社）ななお・なかのとDMO」を中心とした地域一体型の魅力ある観光振興プロジェクトとして実施する。また、観光

施設等の整備も必要に応じて実施する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

圏域の観光の舵取り役となる「DMO組織」については、地方公共団体の補助金や会費収入などにより財源確保を図る。さらに、将来的にDMOが成熟していく中で、観光施設の指定管理による入館料、その他の手数料などにより自己財源を確保することで、自立に向けた財政基盤の強化を図る。

【官民協働】

行政は、（一社）ななお・なかのとDMOが取り組む地域資源を活かした観光振興や地域経済を活性化させるため施策に対して支援を行う。また、参画する民間事業者は組織へ会費を払うだけでなく、魅力を生かした観光施策の取り組みに対しての協力・支援を行う。

【政策間連携】

DMOを構築し、多様な関係者の合意形成のもと、効果的なマーケティング、観光地の一体的なブランドづくりなどの観光振興を戦略的に行い、周遊バスルートなどの二次交通や価値ある自然・歴史・食素材の提供など、まちづくり・地域活性化と連携して、観光資源の磨き上げを行う。

【地域間連携】

「（一社）ななお・なかのとDMO」が、観光協会、商工会議所、商工会、旅行事業者と連携し、一体的に事業を進める。また、石川県、能登半島広域観光協会とも連携を図りながら観光地域づくりを進める。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を七尾市、中能登町の担当課が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

七尾版総合戦略等推進委員会及び中能登町まち・ひと・しごと創生有識者

会議を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果は毎年度、ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・ 法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

総事業費 279,921 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から 2021 年 3 月 31 日（3 か年）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から 2021 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2 の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2 に掲げる目標について、7-1 に掲げる評価の手法により行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2 の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。